



公民館の スマートロックの導入

山手西自治会

背景

- 山手西公民館を利用する際の流れとして
 - ①毎月第2,4土曜日の午前中に予約受付を行っており、利用希望者は来館して希望日の受付を行う。この時点では公民館の鍵を渡していない。
 - ②後日、利用日のおよそ1週間前に公民館の担当者から鍵を受け取る。
 - ③公民館利用後は後日、公民館の担当者に鍵を返却するという手順となっており、鍵の受け渡し、返却は利用者と担当者で日時を調整して行っていただくことになっておりました。

しかし、当自治会では子育て・共働き世帯が多くなっており、鍵の受け渡しと返却の日程調整が難しい状況であったり、煩雑なやり取りのため、公民館利用のハードルが高くなっている要因の一つと考えました。

更に、コロナ流行後、できる限り非対面での対応を促進したいというニーズも高まっておりました。

事業目的

1. 公民館利用の利便性の向上

鍵の受け渡し、返却をなくすことで、利用者が感じる煩わしさを軽減し、公民館利用の心理的なハードルを下げることができる。

2. 公民館担当者の業務軽減、効率的な運営の実現

毎月2回の受付日に利用申込みとスマートキーの発行を行うことができ、鍵の返却も不要となります。

3. 鍵の管理の簡素化により、安全性の向上

将来的には利用者用の鍵の管理が不要となり、紛失などの不安も解消されます。

事業内容

- ・公民館の玄関ドアにスマートロック（LOCKIN G30）を設置。
- ・商品の購入、設置作業は京阪不動産に依頼
- ・設置作業の時間は取付と設定で2,3時間程度
- ・従来より付いているシリンダー鍵はスマートロック設置後もそのまま利用できるため、取り外しの工事は不要。
- ・スマートロックは専用アプリで管理することができるため、受付業務用にタブレットも購入。
- ・リモートで鍵の管理を行えるよう、公民館に設置しているWifiと接続。

事業内容



スマートロック外側



スマートロック内側



管理用タブレット

導入メリットと課題

- 解錠用パスワードには「無期限」「ワンタイム」「期間指定」の3パターンが有り、複数のパスワードを設定できるため、自治会役員用、公民館受付担当用、利用者用などでそれぞれのパスワードを設定することができます。
- オートロックの設定もできるため、鍵の掛け忘れも防ぐことが可能。
- 従来より付いているシリンダー鍵も併用できるため、デジタルに苦手な方のフォールー体制も用意でき、無理のないデジタル化を進めることができます。
- パスワードごとに入館、退館のログ記録も残るので利用状況が把握できます。
- 来期より本格的な利用を予定していることと、まだ公民館の利用率が低いため、具体的な問題点は浮かび上がっていないが、利用者の声を聞きながら、使いやすいシステムにチューニングをしていきたいと考えています。6